

令和4年度 八幡浜市立八代中学校 学校評価表

* 「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の割合を肯定率とする。分からない・回答できないは、分母に含まない。
 * 平均値は、「よくあてはまる→4 ややあてはまる→3 あまりあてはまらない→2 全くあてはまらない→1」として計算

NO	対象	令和4年度項目	R3前期 肯定率	R3後期 肯定率	R4前期 肯定率	R3前期 平均値	R3後期 平均値	R4前期 平均値	傾向	後期に向けて	
【教育目標】	1	教師	本校の教育目標である『共に「学び 思いやり 鍛え」輝く』の実践に努めている。	100%	95%	100%	3.2	3.2	3.1		
	2	教師	学校で生徒のよさや可能性が発揮され、一人一人が輝く場面をつくっている。	100%	95%	90%	3.2	3.2	3.0		
	2	生徒	自分のよさや可能性が発揮でき、諸活動に前向きに取り組んでいる。	90%	89%	89%	3.2	3.2	3.2		
	2	保護者	学校ではお子さんのよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	89%	90%	90%	3.2	3.2	3.1		
	2	地域	生徒のよさや可能性が発揮され、諸活動に前向きに取り組んでいる。	100%	100%	100%	3.7	3.7	3.5		
【教育目標】	3	教師	いじめ問題に対応し、居心地の良い学校づくりに努めている。	100%	100%	100%	3.3	3.3	3.2		○アンケートや教育相談を充実し、更なる生徒理解や保護者との連携に努める。
	3	生徒	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	95%	90%	93%	3.3	3.3	3.5		
	3	保護者	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	89%	86%	88%	3.1	3.1	3.1		
	3	地域	学校は、お互いのよさを認め合い、いじめのない居心地のよい学校づくりに取り組んでいる。	100%	100%	100%	3.7	3.7	3.2		
【家庭・地域との連携・協働】	4	教師	保護者や地域の方が、行事やその他の教育活動に参加しやすいような工夫に努めている。	96%	90%	90%	2.9	2.9	3.1		
	4	保護者	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	94%	91%	89%	3.2	3.2	3.2		
	4	地域	学校は、保護者や地域との関わりを多く持ち、温かい信頼関係を築いており、来校しやすい雰囲気がある。	93%	100%	100%	3.5	3.5	3.2		
	5	教師	教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭・地域に知らせるように努めている。	78%	90%	90%	3.1	3.1	3.3	高い評価	
	5	保護者	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	93%	96%	96%	3.4	3.4	3.3		
	5	地域	学校は、教育活動に関する情報を、通信やホームページなどを通じて、家庭や地域に知らせている。	94%	100%	100%	3.6	3.6	3.6		
【家庭・地域との連携・協働】	6	教師	地域の人の協力を得て、教育活動を進めようと努めている。	61%	85%	90%	3.1	3.1	3.1		
	6	保護者	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	94%	97%	92%	3.3	3.3	3.2		
	6	地域	学校は、地域の人の協力を得て教育活動を進めようと努めている。	86%	93%	93%	3.5	3.5	3.3		
【学年・学級活動】	7	生徒	学校生活が楽しい。	93%	92%	91%	3.5	3.5	3.4	高い評価	
	7	保護者	お子さんは、元気に楽しそうに学校へ通っている。	94%	94%	93%	3.5	3.5	3.4		
	7	地域	八代中の生徒は、元気に楽しそうに学校へ通っている。	100%	100%	100%	3.5	3.5	3.2		
	8	教師	様々な活動で、議論したり、競い合ったりして、お互いに高め合う生徒の育成に努めている。			90%			2.9		○「問答ゲーム」の実践を積み重ねて、スキルを身に付け、議論したり、競い合ったりしながらお互いを高め合っていけるような素地をつくりたい。
	8	生徒	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。	95%	96%	88%	3.5	3.5	3.3		
	8	保護者	八代中の生徒は、様々な活動で、議論したり、競い合ったりしながら、お互いを高め合っている。			85%			3.0		
	【学年・学級活動】	9	教師	生徒は時と場に応じたさわやかな挨拶をしている。	74%	45%	67%	2.5	2.5	2.8	教師、地域の評価が低い。特に地域の評価が昨年より下降
9		生徒	学校や地域で、時と場に応じてさわやかなあいさつをしている。	92%	90%	90%	3.2	3.2	3.4		
9		保護者	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	86%	84%	83%	3.0	3.0	3.0		
9		地域	八代中の生徒の挨拶は、爽やかである。	100%	92%	62%	3.5	3.5	2.8		

	10	教師	自発的・自治的な学級活動や生徒会活動を推進している。	87%	90%	76%	3.1	3.1	2.9	教師の評価が昨年よりも下降	○常に新たなことにチャレンジすれば、意識は高くなる。教師の助言が大切。 ○行事を通して自己有用感を高めたい。 ○生徒会役員が自信を持ち、語り、全体を動かすリーダーシップを育てたい。
	10	生徒	学級活動や生徒会活動に自主的、積極的に取り組んでいる。	86%	82%	81%	3.2	3.2	3.2		
【教育活動】	11	教師	ふるさと教育やキャリア教育を推進し、夢と希望を持ち、目標に向けてチャレンジする生徒の育成に努めている。	96%	100%	81%	3.1	3.1	3.0	保護者の評価が特に低い。	○夢や希望を語り、楽しく働いたり、目標にチャレンジしたりする大人でありたい。私たち教師自らが子どもたちのロールモデルとなることが大事である。
	11	生徒	将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	85%	82%	81%	3.3	3.3	3.2		
	11	保護者	お子さんは、将来の夢や希望を持ち、目標に向けてチャレンジしている。	79%	78%	66%	3.1	3.1	2.8	【14について】 ○人権意識に欠ける行動をとる生徒がいるかどうか、人権教育をしていく上での一つのバロメーター。研修で積み上げてきた成果を生徒に伝えたい。 ○人権集会や人権感覚が高まるような掲示物を継続したい。	
	12	教師	思いやりの心を育む道徳教育を推進している。	100%	95%	95%	3.3	3.3	3.3		高い評価
	13	教師	特別支援学級と通常学級との交流が効果的に図れるよう、場の設定や活動の工夫に努めている。	78%	90%	76%	3.1	3.1	2.9		課題の一つ
	14	教師	人権感覚を高め、差別解消への実践力を育てることに努めている。	100%	100%	95%	3.3	3.3	3.0		特に力を入れた
【学力向上】	15	教師	基礎・基本の徹底と、分かる授業の実践に努めている。	100%	100%	100%	3.6	3.6	3.4	教師→生徒→保護者の差が大きい	○授業以外で継続的に個別指導が必要な生徒がいるが、昼休み、放課後(部活動)は教師の体が空かない。何とかしたいという思いは強く、ジレンマがある。 ○ICT活用がペーパーテストの結果につながりにくい。どの場面での活用が有効か検証し、ベストミックスの視点を持ちたい。
	15	生徒	授業の内容が分かり、基礎的・基本的なことが理解できている。			85%			3.1		
	15	保護者	お子さんは、授業を通して、基礎的・基本的な内容が身に付いている。			67%			2.8		
	16	教師	生徒は自主学習に励んでいる。			90%			2.9	保護者の評価が低い	○個々の学力に応じた取組を目指したい。学習状況は、学級担任だけでなく学年部全員で見取る。 ○生徒によって大きな開きがある。充実している生徒は何かの形で認め、更なる向上への助言を行う。支援が必要な生徒には、教育相談の上、内容を決める。
	16	生徒	自主学習に励んでいる			83%			3.2		
	16	保護者	お子さんは、自主学習に励んでいる			61%			2.7		
	17	教師	生徒は粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。			86%			2.9	生徒、保護者の評価が一番低い項目。今後の課題	○「主体的に学習に取り組む態度」の観点の評価方法等について話し合い、説明ができるように研修を深める。
	17	生徒	粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。			74%			3.0		
17	保護者	お子さんは、粘り強く学習に取り組んだり、学習方法を工夫したりしている。			57%			2.6			
	18	教師	【新規】豊かな専門性を身に付けるために、校内研修や自主研修に積極的に参加している。			95%			3.4	高い評価	
【生徒指導】	19	教師	生徒の安全対策に努めている。	100%	95%	100%	3.6	3.6	3.2	高い評価	
	19	生徒	登下校や自転車に乗るとき、事故がないよう、安全に気を付けている。	98%	99%	97%	3.9	3.9	3.8		
	19	保護者	学校は、生徒の安全確保に努めている。	95%	94%	94%	3.3	3.3	3.2		
	19	地域	学校は、生徒の安全確保に努めている。	100%	100%	100%	3.7	3.7	3.5		
	20	教師	部活動の重要性を認識し、たくましい心身の育成に努めている。	91%	100%	86%	3.3	3.3	3.0		
	20	生徒	部活動に意欲的に取り組んでいる。(取り組んでいた。)	95%	95%	95%	3.8	3.8	3.7		
	20	保護者	お子さんは、部活動に意欲的に参加している。(していた。)	95%	95%	93%	3.6	3.6	3.5		
	21	教師	家庭・地域・諸機関との連携を深め、積極的な生徒指導に努めている。	100%	100%	90%	3.3	3.3	3.1		
	21	保護者	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができている。	87%	86%	89%	3.1	3.1	3.1		
	21	地域	学校は、生活指導において、家庭との緊密な連携ができている。	100%	100%	100%	3.7	3.7	3.3		
22	教師	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃を推進している。	100%	85%	90%	3.1	3.1	3.0			
	22	生徒	黙々と取り組む清掃を通し、心を磨く清掃に取り組んでいる。	95%	92%	96%	3.5	3.5	3.6	教師で一番低い評価 昨年よりも上昇	【23について】 ○個人差が大きく、苦手な教員は積極的に質問し、得意な教員は、意識的にスキルを紹介するような職員間の雰囲気を作る。 ○回数を決め、ICTを使った授業を積極的に行う。 ○ICT活用時の生徒のマナー醸成を継続して行う。
【総務】	23	教師	ICTを授業で積極的に活用し、協働的・探究的な学びを目指している。	68%	90%	48%	3.1	3.1	2.5		
	24	教師	仕事のやりがいを重視しつつ、時間外勤務が長時間にならないように意識改革に努めている。	48%	70%	90%	2.7	2.7	3.2		

